

事業所名

インクルー東成沢教室

支援プログラム_児童発達支援

作成日

2026 年

2 月

15 日

法人(事業所)理念		インクルーは、『個性の輝き』を活かした支援と、『個性の輝き』を活かせる社会づくりを目指す、あなたのみらいへの伴走者です。		
支援方針		重症心身障害児および医療的ケアが必要な児童を対象に、看護師を中心とした医療的視点と、児童発達支援管理責任者・指導員による療育支援を連携させ、安心・安全を最優先とした発達支援および生活支援を行う。児童一人ひとりの体調や発達段階に配慮し、無理のない関わりの中で心身の安定と生活の質の向上を目指す。		
営業時間		9 時 30 分から 17 時 30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	看護師が中心となり、児童一人ひとりの健康状態を日々把握し、必要に応じて医療的ケアを行います。体調や生活リズムに十分配慮しながら、入浴支援や食事・排泄等の日常生活場面を通して、安心して過ごせる生活環境づくりを行います。また、心身の安定を図るため、休息の時間を大切に支援を行います。		
	運動・感覚	感覚刺激を取り入れた遊びや、マット運動・リズム活動などの無理のない運動を行い、身体機能の維持や姿勢保持を意識した支援を行います。必要に応じて専門職(PT・OT)の助言を取り入れ、児童の身体状況に配慮した関わりを行うことで、安心して身体を動かせる経験を積み重ねていきます。		
	認知・行動	一日の流れや活動内容を分かりやすく示すことで、児童が見通しを持って安心して過ごせるよう支援します。児童一人ひとりの反応やその日の体調に応じた柔軟な関わりを行い、落ち着いて活動に参加できるよう配慮します。		
	言語 コミュニケーション	表情や視線、ジェスチャーなどの非言語的な反応を大切にしながら、児童の意思表示を丁寧に受け止める関わりを行います。必要に応じて絵カードやタブレット等の補助ツール、専門職(ST)の助言を活用し、コミュニケーションの機会を広げていきます。		
	人間関係 社会性	職員との安定した関係づくりを基盤としながら、他児との関わりや集団活動への参加を支援します。戸外活動や季節行事などを通して、社会とのつながりを感じられる経験を大切に、無理のない形で社会性を育てていきます。		
家族支援		保護者との面談や日々の情報共有を通して、家庭での様子や不安を丁寧に伺い、安心して子育てができるよう支援します。お子さま一人ひとりの特性や体調に配慮しながら、安定した関係づくりを大切に、無理のない形で人との関わりを経験できるよう支援します。また、地域との交流機会を通して、安心して社会とつながる経験を積み重ねていきます。	移行支援	お子さまが環境の変化に対して安心して適応できるよう、成長や発達段階に応じた準備や関わりを行います。必要に応じて、保育園・学校・関係機関と情報共有を行い、無理のない形で次の生活環境へつながるよう支援します。
地域支援・地域連携		医療機関、教育機関、関係機関等と連携し、必要に応じた情報共有を行いながら、児童一人ひとりに応じた支援を行います。また、当法人内の関連教室や事業所と連携し、専門的な助言や支援内容の共有を行うことで、支援の質の向上を図ります。地域とのつながりを大切に、無理のない形で社会との関係を築いていけるよう支援します。	職員の質の向上	重症心身障害児および医療的ケアに関する理解を深めるため、研修や勉強会への参加を通して、職員の専門性の向上に努めます。看護師、児童発達支援管理責任者、指導員が日常的に情報共有を行い、チームとして支援の質を高めていきます。お子さまの安全と安心を最優先に考え、継続的な振り返りを行いながら支援内容の改善に取り組みます。
主な行事等		季節や行事に合わせた活動を企画・実施します。節分やひな祭り、クリスマス会、夏の水遊びなどを通じて、利用者の楽しい思い出作りや社会性の向上を図ります。		

事業所名

インクルー東成沢教室

支援プログラム_放課後等デイサービス

作成日

2026年

1月

15日

法人(事業所)理念		インクルーは、『個性の輝き』を活かした支援と、『個性の輝き』を活かせる社会づくりを目指す、あなたのみらいへの伴走者です。		
支援方針		重症心身障害児および医療的ケアが必要な学齢期の児童を対象に、看護師を中心とした医療的視点と、児童発達支援管理責任者・指導員による療育支援を連携させ、安心・安全を最優先とした生活支援および余暇支援を行います。 学校生活後の体調や疲労に配慮しながら、無理のない関わりを大切にし、放課後の時間を安心して過ごせる環境づくりと、心身の安定および生活の質の維持・向上を目指します。		
営業時間		9時30分から17時0分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	看護師が中心となり、利用児童一人ひとりの健康状態を把握し、必要に応じて医療的ケアを行います。 学校生活後の疲労や体調変化に配慮しながら、入浴支援や食事・排泄等の日常生活場面を通して、安心して過ごせる生活環境づくりを行います。 また、心身の安定を図るため、休息の時間を大切に支援を行います。		
	運動・感覚	感覚刺激を取り入れた遊びや、マット運動・リズム活動などの無理のない運動を行い、身体機能の維持や姿勢保持を意識した支援を行います。 必要に応じて専門職(PT・OT)の助言を取り入れ、利用児童の身体状況に配慮した関わりを行い、安心して身体を動かせる経験を大切にします。		
	認知・行動	放課後の時間を安心して過ごせるよう、一日の流れや活動内容を分かりやすく示し、見通しを持てる環境を整えます。 利用児童一人ひとりの反応や体調に応じた柔軟な関わりを行い、落ち着いて活動に参加できるよう配慮します。		
	言語 コミュニケーション	表情や視線、ジェスチャーなどの非言語的な反応を大切にしながら、利用児童の意思表示を丁寧に受け止める関わりを行います。 必要に応じて絵カードやタブレット等の補助ツール、専門職(ST)の助言を活用し、コミュニケーションの機会を広げていきます。		
	人間関係 社会性	職員との安定した関係づくりを基盤としながら、他児との関わりや集団活動への参加を支援します。 戸外活動や季節行事、イベント等を通して、放課後の時間を活用しながら、無理のない形で社会とのつながりを感じられる経験を大切にします。		
家族支援		保護者との日常的な情報共有や面談を通して、学校生活や家庭での様子を丁寧に伺い、不安や悩みに寄り添った支援を行います。 利用児童一人ひとりの体調や特性を踏まえ、保護者と連携しながら、安心して放課後の時間を過ごせるよう支援します。	移行支援	利用児童が環境の変化に対して安心して適応できるよう、成長や発達段階に応じた関わりや準備を行います。 必要に応じて、学校や関係機関と情報共有を行い、無理のない形で次の生活環境へつなげるよう支援します。
地域支援・地域連携		医療機関、教育機関、関係機関等と連携し、必要に応じた情報共有を行いながら、利用児童に応じた支援を行います。 また、関連する当法人の教室や事業所と連携し、専門的な助言や支援内容の共有を行うことで、支援の質の向上を図ります。 地域とのつながりを大切にし、無理のない形で社会との関係を築いていけるよう支援します。	職員の質の向上	重症心身障害児および医療的ケアに関する理解を深めるため、研修や勉強会への参加を通して、職員の専門性の向上に努めます。 看護師、児童発達支援管理責任者、指導員が日常的に情報共有を行い、チームとして支援の質を高めていきます。 安全と安心を最優先に、支援内容の振り返りと改善を継続的に進めます。
主な行事等		季節や行事に合わせた活動を企画・実施します。節分やひな祭り、クリスマス会、夏の水遊びなどを通じて、利用者の楽しい思い出作りや社会性の向上を図ります。		